

グループ事業の成長の歴史

Daigasグループは1905(明治38)年にガスの供給を開始しました。それから110余年、ガス燈を灯すことから始まったガス事業は、社会や環境変化のなかで幾多の困難にぶつかりながらも、調理、暖房、給湯、発電まで用途を広げてきました。また、エネルギー事業で培ったお客さまや地域とのつながりを源泉に、事業領域を拡大し、多様な商品・サービス・ソリューションを提供する企業グループに発展してきました。

社会的背景とグループの取り組み

- 社会課題・ニーズ
- Daigasグループの価値共創

地域の安全性向上

当時、電灯はまだ高価で、普及していた石油ランプはしばしば火事の原因となっており、都市部の社会課題の一つでした。

ガス供給開始

会社設立理由に市民への安全で低廉なガスの供給を掲げ、ガス燈の普及に努めました。

ライフスタイルの変化

人々の慣習も変化しつつあり、女性の社会進出も始まりました。

新しい暮らしの提案

ご家庭の厨房へのガス普及は家事の負担を大幅に軽減させました。

エネルギー需要の増加

急激な都市化への対応が必要となりました。

LNGの導入

天然ガス転換により、供給安定性向上や環境負荷軽減等が図られました。

持続可能な社会の実現

SDGs採択、パリ協定発効、TCFD提言発表等、全世界が取り組むべき喫緊の課題として挙げられています。

先進的な商品の開発

お客さまとともに社会課題の解決に努めます。

